

森林教室「自然と遊ぼうDAY！」の開催

〈愛媛森林管理署〉

七月二十五日に森と湖に親しむ旬間の取組として、石手川ダム水源地域ビジョン推進委員会や愛媛県、松山河川国道事務所、松山市、愛媛森林管理署の主催のもと、松山市玉谷町のせせらぎ公園において「自然と遊ぼうDAY」が開催され、小学生三十六名、未児童二一名の親子が参加しました。

午前中は当署の川畑署長を含む主催者代表の挨拶の後、東雲女子大学誉教授と愛媛大学教授による昆虫観察が行われ、公園の周辺にいる昆虫や水中生物の数々に子供たちは興味津々の様子でした。

午後からは当署が担当する森林の話と木工教室を行いました。森林の話については、国有林等の森林の役割について説明を行いました。普段聞けない話とあってか子供たちの真剣に聞き入る様子が印象的でした。

続く木工教室では、愛媛県産のスギ間伐材（地域材）を利用した木製のハト笛と木琴の制作に取り組みました。

今回の参加者は、低学年が

多かったこともあり、比較的単純な部材を組み立てる物を用意しましたが、自分で組み立てた後に、音を出す難しさに四苦八苦する子供が多く、職員に助けを求める姿がみられました。

木工教室が終わった後も、この笛の音が響き渡り、苦労して出来た木製の楽器に喜びを感じてもらえたと思います。

その後は松山市東消防署による水難救助に関する話と、親子いっしょに川遊びを行いました。今年も猛暑の中、怪我がなく無事にイベントを終えることができ、最後に推進委員会からカブトムシやクワガタムシがプレゼントされ、子どもたちは大喜びでした。

参加者のアンケートから、木工教室がよかったとの評価もあり、来年以降も更に工夫を重ね、国有林等の森林に対し興味や関心を持ってくれる方が一人でも多くなることを切に願っています。

